

## 南アジア4カ国 マーケットレポート

## 【株価指数の推移】※…現地通貨ベース

		終値	11月10日比
インド	S&P・BSE500種指数	14,628.58	0.99%
スリランカ	スリランカ コロンボ 全株指数	6,413.68	-2.12%
パキスタン	カラチ 全株指数	29,011.15	-1.58%
バングラデシュ	ダッカ総合株価指数	6,322.52	2.08%

(出所：ブルームバーグ)

## 【為替(対円)の推移】

		終値	11月10日比
インド	インドルピー	1.7237	-1.06%
スリランカ	スリランカルピー	0.7254	-1.85%
パキスタン	パキスタンルピー	1.0579	-2.16%
バングラデシュ	バングラデシュタカ	1.3432	-1.76%

(出所：ブルームバーグ)

## 【インド：ムーディーズ、格上げ】

S&P・BSE500種指数は、米大手格付け機関ムーディーズの格上げなどを好感して上昇しました。インドの自国通貨建て及び外貨建て発行体格付けは「Baa3」から一段階上の「Baa2」となり、見通しは「安定的」です。格上げの理由として、モディ政権による経済構造改革の進展によって中長期的に政府債務の減少が見込め、健全な経済成長が期待できることを挙げています。一方、ファーストリテイリングはインドでの出店許可を申請しました。インドは更なる経済発展の可能性を秘めた市場として、世界中の企業から注目を集めています。

## 【スリランカ：株式市場は軟調】

スリランカコロンボ全株指数は、約2カ月来の安値水準で推移しています。21日発表のスリランカ全国消費者物価指数(CPI)は前年同月比+8.8%と過去最高を記録しました。主因となった食料価格の高騰が消費減退を通じて成長鈍化をもたらすのではと懸念されています。2017年に入り、ここまでのスリランカ株式市場は、海外からの資金流入額が過去最高を記録していますが、足もとでは2018年度予算案と新税導入を嫌気した外国人投資家の売りが相場の圧迫要因となっています。

## 【パキスタン：堅調な成長見通し】

パキスタン国立銀行(中央銀行)は24日の金融政策決定会合で、政策金利を5.75%に据え置くと決定しました。声明では、2018年度(2017年7月-2018年6月)実質GDP成長率の目標値+6.0%を達成できる見通しとの見解を示しました。インフレ率が低位で推移しているほか、連邦歳入庁(FBR)の税収は7-9月期で予算の22.0%まで進捗しており、財政運営にも余力があります。短期的には輸入拡大に伴う経常赤字が課題となるものの、鉱工業や農業の生産が順調な伸びを示しているため、景気拡大に自信を深めているもようです。

## 【バングラデシュ：輸入拡大による通貨安懸念】

7-10月の輸入額は、工業原料などが押し上げ、前年同期比+28.4%の121.9億ドルに達しました。バングラデシュ銀行(中央銀行)は7月から11月までに計5.53億ドルのドル売り介入を実施していますが、輸入拡大に伴う実需のドル買い/現地通貨売りが優勢となっています。中央銀行にとっては、ドル高現地通貨安による輸入物価の上昇も懸念材料であり、経常収支の悪化見通しも不安視されています。

※『南アジア4カ国 マーケットレポート』は当レポートをもちまして、いったん休刊とさせていただきます。

引き続き、弊社取扱ファンドをご愛顧のほど、よろしくお願い致します。

## 当資料のお取り扱いにおける注意

当資料はアストマックス投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は、信頼できると判断した情報に基づいて作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中に記載している内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更することがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない保証するものではありません。

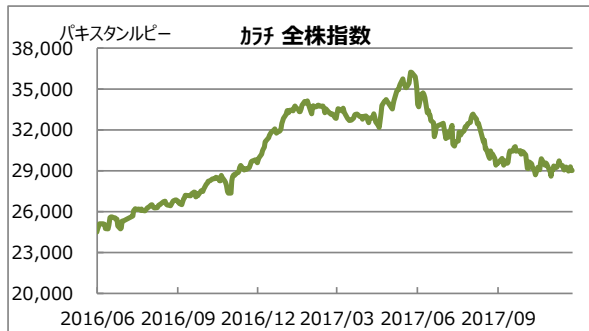
信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。投資信託の取得のお申込みに当たっては、販売会社から目論見書等をお渡しいたしますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

投資信託は、預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

## 南アジア4カ国 マーケットレポート

【株価指数の値動き】〔期間：2016年6月1日～2017年11月24日、現地通貨ベース〕

(出所：ブルームバーグ)



—インド—

—スリランカ—

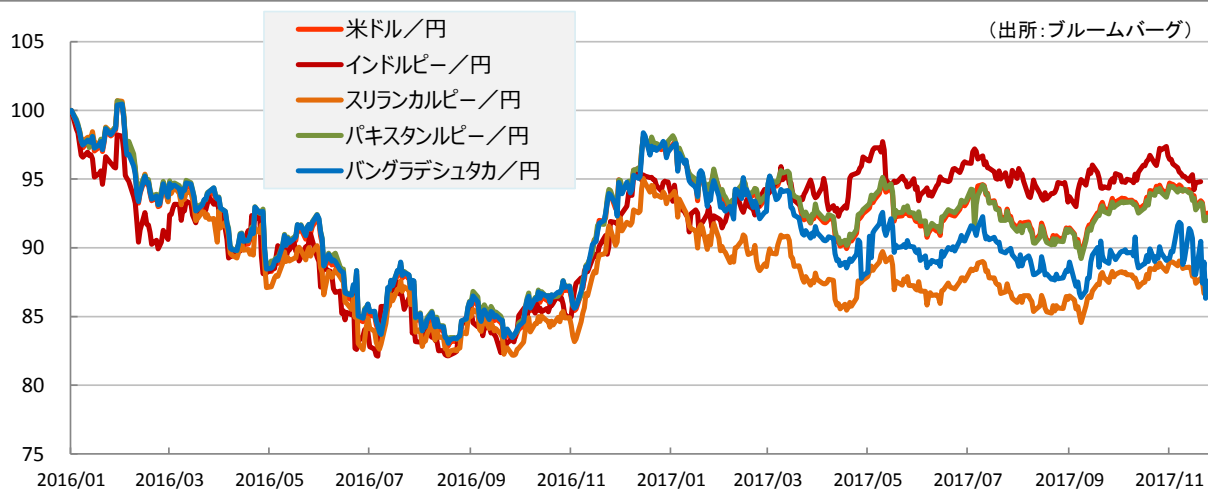
—パキスタン—

—バングラデシュ—

【為替の値動き】

〔期間：2016年1月1日(基準日)～2017年11月24日、基準日を100として指数化〕

(出所：ブルームバーグ)



### 当資料のお取り扱いにおける注意

当資料はアストマックス投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は、信頼できると判断した情報に基づいて作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中に記載している内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更することがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しないし保証するものではありません。

信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。投資信託の取得のお申込みに当たっては、販売会社から目論見書等をお渡しいたしますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

投資信託は、預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

## 南アジア4カ国 マーケットレポート

### 投資信託の主なリスク

投資信託は、主に国内外の株式や債券、その他の有価証券等を投資対象としますので、組入有価証券等の価格の下落や、組入有価証券等の発行会社の倒産や財務状況の悪化、為替の変動等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金とは異なります。運用の結果としてファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。

投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、投資市場、投資対象国などが異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては目論見書や契約締結前交付書面等をよくご覧ください。

### お客様にご負担いただく主な費用

ご投資いただくお客様には以下の費用をご負担いただきます。

- 申込時に直接ご負担いただく費用……申込手数料 上限3.78% (税抜き3.50%)
- 換金時に直接ご負担いただく費用……信託財産留保額 上限0.5%
- 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用……信託報酬 上限2.0412% (税抜き1.89%)
  - ※一部のファンドについては、運用成果等に応じて実績報酬をご負担頂く場合があります。
  - ※ファンド・オブ・ファンズの場合は、ファンドの投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。
- その他費用……上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。  
当該費用は運用状況等により変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。

上記に記載しているリスクや費用項目は一般的な投資信託を想定しています。

費用の料率につきましては当社が運用する公募の投資信託のうち最高の料率を記載しています。手数料の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。投資信託に係るリスクや費用は、各投資信託により異なりますので、ご投資に当たっては、目論見書や契約締結前交付書面をよくご覧ください。



## アストマックス投信投資顧問株式会社

〒141-0022 東京都品川区東五反田2-10-2 東五反田スクエア5階

商号等： アストマックス投信投資顧問株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第387号

商品投資顧問業者 農経(1)第21号

加入協会： 一般社団法人投資信託協会 / 一般社団法人日本投資顧問業協会

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会 / 日本商品投資顧問業協会

### 当資料のお取り扱いにおける注意

当資料はアストマックス投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は、信頼できると判断した情報に基づいて作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中に記載している内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更することがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない保証するものではありません。

信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。投資信託の取得のお申込みにあたっては、販売会社から目論見書等をお渡しいたしますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

投資信託は、預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。